

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス デイジー		
○保護者評価実施期間	令和7年2月15日		～ 令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○生きていく力を大切にしています。	○昼食やおやつ作りに取り組み、調理以外に毎回ではありませんが材料の買い出しに行き、食材探し・セルフレジ・支払い・袋詰めを行っています。 ○自分の気持ちや要望(やりたいこと、分からないから教えてほしい、難しいから手伝ってほしい等)を自分から発信出来るように見守りと必要な声かけを行っています。	○公共の施設を利用し、その場にあったマナーを学んでいます。今後、公共の乗り物等を利用する機会ももうけたいと考えています。
2	○苦手なことや新しいことに挑戦しやすい環境作りを意識しています。	○出来そうなところから取り組んだり、選択肢を用意しています。 ○誰にでも(大人でも)苦手なことがあるということ、失敗しても大丈夫、挑戦したことが素晴らしいということを日頃から伝え、職員自身も挑戦するところを見せるように支援に取り組んでいます。	○日々の関わりの中で、児童一人ひとりの個性や成長を丁寧に捉え、その可能性を最大限に引き出せるよう、深く理解することに努めます。 ○児童それぞれの強み(ストレングス)に着目し、自己肯定感を育み、自信を持って成長できるよう支援いたします。そのために、成功体験を積み重ねられるような目標設定や、個性を尊重した活動を積極的に取り入れていきます。
3	○子ども主体の活動に取り組んでいます。	○児童からやってみたい活動を発案できる時間等を設け、その活動に向けた実現に取り組んでいます。	○児童が主体的に活動へ参画できるよう、可能な限りの支援をいたします。そのために、児童の意見を丁寧に聞き取り、それぞれの個性や能力に合わせた支援を提供します。 ○児童が『できること』と『できないこと』を体験し、自分たちで考え、活動を実現するために必要な支援について話し合えるよう、サポートいたします。その際、子供たちが主体的に考え、解決策を見つけられるよう、助言や情報提供を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○公園や公共施設を利用する際に、地域の子と交流することはありますが、放課後児童クラブや児童館と交流する機会がありません。	体制が整っていないこと。	地域のイベントなど情報収集を行い参加を検討していきます。
2			
3			